



竹喬(左)と禎治郎(右)

竹喬と水川禎治郎

水川禎治郎(1886-1947)は、竹喬にとって親しい後援者のひとりでした。広島県出身の実業家であった禎治郎は、大正期に朝鮮半島へ渡り、終戦まで日本人が多く住んだ群山^{クンサン}という町に家族とともに暮らしました。竹喬は昭和7(1932)年、8(1933)年、9(1934)年と朝鮮半島を訪れていますが、その滞在に際しては、禎治郎が「竹喬会」の幹事をつとめて画会を開き、同地における優れた案内人の役を担っています。

その水川家には、かつて春男の作品が3点所蔵されていたといひます。そのうち1点の軸は春男の出征前後に竹喬によって引



小野春男色紙 水川家蔵

き取られ、赤松が描いてあったという色紙は、同家の引き揚げの際に他の家財とともに失われてしまいます。水川家は戦地の春男に差し入れを送り、禎治郎の孫娘のひとは内地へ戻ってきた時に竹喬の娘から人形をもらったことがあるそうです。春男の遺作の中には人形を描いたものが含まれていますが、少女達の間で交わされた人形もこれと同様のものであったのかもしれません。

ギャラリーコンサート



♪ ソプラノ村上彩子「平和祈念 父・竹喬 息子・春男の目指した道」
7月18日(土) 18時開場、18時30分開演

♪ ソプラノ村上彩子「小野春男・葛原 守 戦没学生蘇る70年の時」
8月8日(土) 18時開場、18時30分開演

いずれの回も、入場整理券(一般500円、竹喬美術館友の会会員は無料)を竹喬美術館にて事前にお求めの上ご来場下さい。入場整理券で当日18時からに限り展覧会もご覧いただけます。当日お車でお越しの方は、竹喬美術館駐車場もしくは備中県民局駐車場(岡山県笠岡市六番町2-5)をご利用下さい。笠岡市民会館(美術館南側)および図書館(美術館西側)の駐車場はご利用になれません。

交通

JR山陽本線笠岡駅から

- ・ 駅前④番のりば 井笠バスカンパニー
神島(こうのしま)循環/乗時(のりとき)
行き/美の浜(みののはま)行き「市民会館・竹喬美術館前」下車、市民会館北側
5分 150円
- ・ タクシー 5分
- ・ 徒歩 25分

山陽自動車道 笠岡I.C.から 15分



笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17
tel.0865-63-3967 fax.0865-63-4496
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/museum/>

ちっきょう 検索